

# 保証書(持ち込み修理)

型名 HKC-002WH

製造No.

お客様	ご住所	〒										電話			
	お名前	ふりがな													
保証期間	お買い上げ日			年			月			日	本体	1年	年	月	日まで
販売店	電話														

修理実施日	修理内容	担当者

販売元 **株式会社ヒロ・コーポレーション**  
 〒800-0236 福岡県北九州市小倉南区下貫2丁目7-1  
 TEL:0120-123-187

【ご質問・修理依頼・部品のご注文等は下記のお電話番号にお問い合わせください】

●お客様窓口：TEL: 0120-05-1783  
 携帯電話の場合は下記へ  
 TEL:092-408-6261  
 (受け付時間:9:00~17:00<土、日祝祭日除く>)

Eメール:supportkom59@gmail.com

●サービスセンター:(株)KOM 福岡市南区清水1-25-10  
 TEL:092-408-6261

輸入発売元:(株)KOM 〒815-0031 福岡市南区清水1-25-10 TEL:092-408-6261

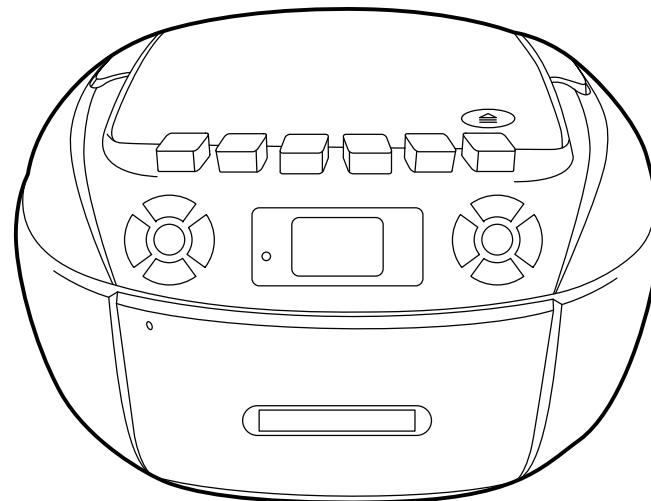
# 取扱説明書

# HKC-002WH

## AM/FMステレオCDラジカセ(家庭用)

**[保証書付]** 保証書は、取扱説明書の裏表紙についております。販売店にて必ず記入を受け、大切に保管してください。

この度は、AM/FMステレオCDラジカセをお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱説明書をよくお読みください。また、本取扱説明書及び保証書は必ず保管して必要に応じてご利用ください。





### 【目次】

安全上のご注意・CD再生時の注意	1~2	ラジオのチャンネル設定	13
コンパクトディスクの取扱い	3	カセットテープを聴く	14
カセットテープについて	4	カセットテープに録音する	15
各部名称	5	故障かなと思ったら	16~17
電源について	6~7	製品仕様・MEMO	18
準備	8	保証とアフターサービス	19
オーディオCDの再生	9~11	MEMO	20~22
ラジオを聴く	12	保証書	23



## 安全上のご注意

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然にぼうしするために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。








### 表示の意味

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。




### 絵表示の例

	●記号は禁止の行為であることを示しています。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号はしなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

### 警告











	交流100V以外の電圧で使用しないで下さい。 ・指定以外の電源電圧で使用しないで下さい。 ・火災・感電の原因となります。
	設置の時、壁から10cm以上離して下さい。 ・熱が本機にこもり、火災の原因となります。
	風呂、シャワー室で使用しないで下さい。 ・火災・感電の原因となります。
	通風孔をふさがないで下さい。 布団の上で使用しないで下さい。 ・熱が本機にこもり火災の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱたり、加熱したり釘で固定したりしないで下さい。 また、コードが本機やその他の下敷きにならないようにして下さい。 ・コードが傷つき火災・感電の原因となります。
	煙が出たり、変な匂いや音がした時は、すぐに使用を中止しスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、点検・修理に出してください。 ご自分での修理は危険です。 ・火災・感電の危険があります。
	電源プラグは清潔にしてください。 ・電源プラグとコンセントの間に塵・埃がたまりショートし火災の危険があります。

### 警告

	本機の内部に水や異物を入れないで下さい。また花びん等を本機の上に置かないで下さい。万一本機に水や異物が入った場合は、まずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そして、点検・修理を依頼して下さい。 ・そのまま使用すると火災・感電の危険があります。
	万一、本機を落としたりキャビネットを破損した時は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 ・そのまま使用すると火災・感電の危険があります。
	ご自分での修理等で本機のキャビネットは絶対に開けないで下さい。 点検・修理は販売店に依頼して下さい。 ・火災・感電の危険があります。

## 安全上のご注意

### 警告

	電源を入れる前に必ず、音量を最小にしてください。 突然大きな音がして聴力障害の原因となります。
	次のような場所に置かないでください。 調理台、加湿器、ストーブ、油煙、湯気が当たる場所。 台座がぐらつくところや不安定な場所。 ・故障や事故の原因となります。
	電源コードを熱器具のそばに近付けないで下さい。 ・コードの被覆が溶けて火災・感電の危険があります。
	温度の高い場所におかないで下さい。 ・窓際や自動車内等は高温になりますので、本機の故障の原因となります。
	電源プラグの抜き差しはぬれた手でしないで下さい。 ・感電の危険があります。
	電源プラグはコンセントに根元まで差し込んでください。 差し込み不良は埃が付着し、発熱・ショートし火災の危険があります。 また差し込みプラグの刃に触れる恐れがあります。感電の危険があります。
	電源プラグを抜く時は、差し込みプラグをもって抜いてください。 コードを引っ張るとコードが傷つき断線やショートの原因になります。 ・火災・感電の危険があります。
	お手入れの際は、安全の為、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・感電の危険があります。
	長時間ご使用されないときは、安全の為、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・火災の原因となります。
	レーザー光源を覗き込まないで下さい。 ・レーザー光源を見ると視力障害を起こすことがあります。

## CD再生時の注意

### CD再生中に振動やショックを与えると音跳びします。(再生音が途切れます)

CDセンサーは非常に精密に出来ています。薄い板や畳の上等振動を伝えやすい場所に置いた場合も同様のことが起きます。

### ※硬い水平な台の上や振動を伝えにくい場所で使用してください。

CDにキズや指紋、ホコリがついている場合ディスプレイに**nod**(ノーディスク)の表示のまま再生できない場合があります。

## コンパクトディスクの取扱い

- 音楽用のCDをお使いください。
- CD-R/RWを作成された場合、記録状態の悪い場合や、ディスクによっては再生出来ないモノもございますので予めご了承ください。又、必ず記録後はファイナライズしてください。
- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの再生は片面だけです。)
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手でさむように持ってください。

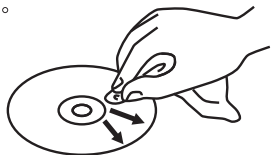
取り出し方 ↑



コンパクトディスクの正しい持ち方



- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直線方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。長時間放置するとそりなどの原因になります。

- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書いたりしないでください。
- 再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形などの特殊形状のCDIは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



### 結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい、室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖炉を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1~2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

### ■ お手入れについて

お手入れの際には、安全のため電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ※ 本機の汚れは乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れのひどい時は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、乾いた布で拭き取ってください。
- ※ ベンジンやシンナーなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげたりする事があります。
- ※ 化学雑巾をお使いになる時は、化学雑巾の注意書きをよくお読みください。
- ※ 殺虫剤などの揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。

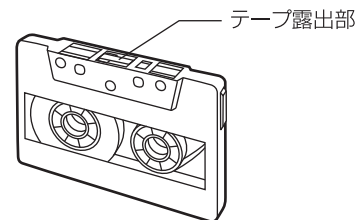


## カセットテープについて

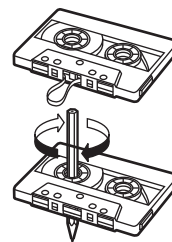
- ※ ノーマルテープ(TYPE1)のみが使用可能です。
- ※ 120分以上の長時間テープは変形しやすく、また伸びやすいため、テープのからみや、切れの原因になりますので、本機では使用しないでください。
- ※ C-90以下のテープでノーマルタイプをご使用ください。
- ※ エンドレステープは本機ではご使用になれません。

### テープの入れ方

- ※ テープのたるみがないかどうか確認してください。
- ※ カセットデッキに入れる時はテープの露出面を上にし、聴きたい面(A面またはB面)を手前に入れてください。

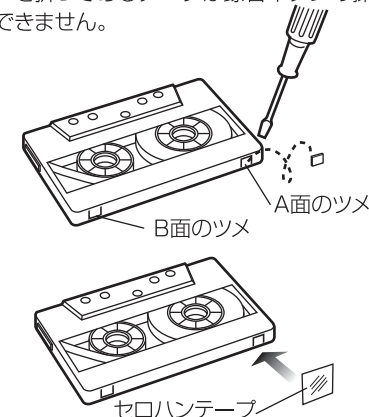


- ※ テープのたるみはテープの巻き付きや、切断の原因ともなります。
- ※ テープがたるんでいないかどうか確かめ、たるんでいるようなら図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



### 大切な録音を消さないために

- ※ 保存しておきたいようなテープの場合には、カセットテープのうしろ側にある“ツメ”を折っておくと、まちがって大切なテープを消去せずすみませす。また、録音したい時は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼り付けてください。
- ※ ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。



### リーダーテープについて

- ※ カセットテープの両端のリーダーテープ部分(半透明部)には録音できません。録音の前にはこの部分を送ってください。

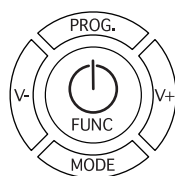
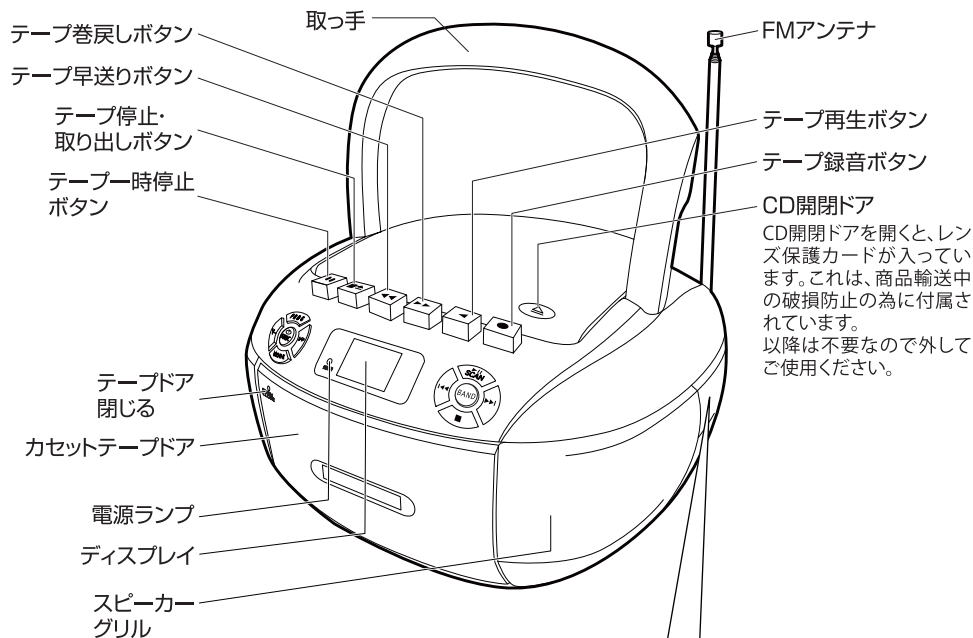
### 著作権について

あなた個人が録音したものは、個人として楽しむ等の他、著作権法上の権利者に無断で使用することはできません。

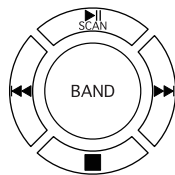
- ※ 本機の故障、誤操作、不具合などによって発生した次にあげる損害などの付随的損害賠償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープへ記録された内容の損害。
- 録音、再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害。

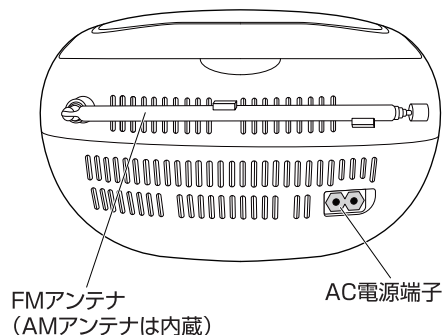
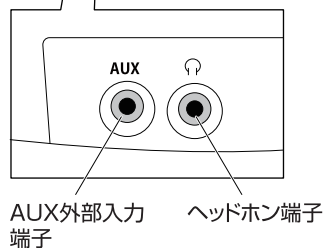
# 各部名称



PROG.	CD/ラジオプログラムボタン
V-	音量 (小) ボタン
V+	音量 (大) ボタン
MODE	モード切替えボタン
FUNC.	ファンクション (入力切替) ボタン



SCAN	CD再生/一時停止ボタン
◀◀	CD前曲ボタン
▶▶	CD次曲ボタン
■	CD停止ボタン
BAND	AM/FM切替ボタン



# 電源について

この製品は付属の電源コードを使って家庭のAC100V電源、または単2形乾電池6本で使える2電源方式です。

## 電源コードの接続

### ⚠ 注意

※電源コードの誤った使い方は、火災や感電、故障の原因になります。つぎの点にご注意ください。

- 同梱の電源コード以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 電源コードはAC100V 50/60Hzのコンセントに接続してください。
- 長時間で使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

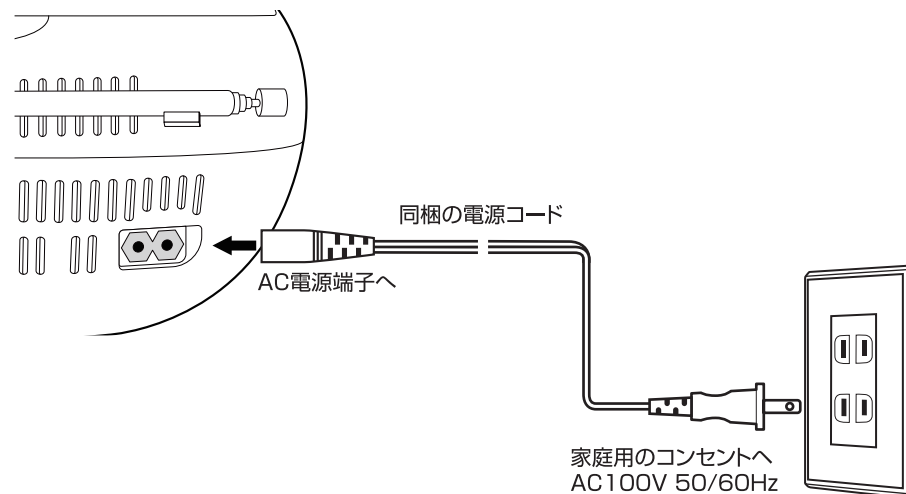
### 1.電源コードを接続する

電源コードを本体背面のAC電源端子に接続します。

### 2.電源プラグをコンセントに接続

電源プラグをコンセント(AC100V)に接続します。電源周波数は50Hzまたは60Hzのどちらの地域でもそのままご使用できます。

※使わないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。



# 電源について

## 乾電池で使うとき

### 注意

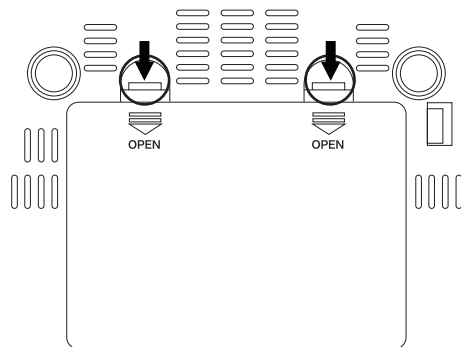
※電池の誤った使い方は、液もれや破裂の原因になります。つぎの点にご注意ください。

- 長時間で使用にならない場合は、電池を本体から取り出しておいてください。
- 電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。
- マンガン乾電池は消耗が早いので、アルカリ乾電池をお勧めします。
- 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 交換する電池は単2形1.5V(UM2)を6本使用します。

## 乾電池の入れ方

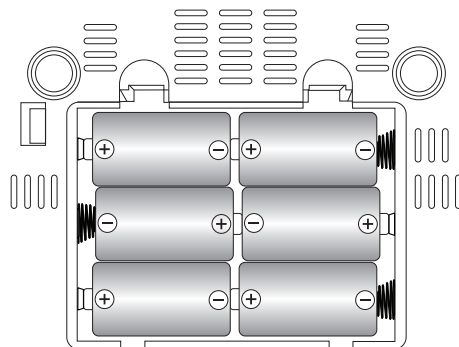
### 1.電池カバー(底面)をはずす

電池カバーの○部を押しながら電池カバーをはずしてください。



### 2.単2形乾電池6本を入れる

※乾電池はプラスとマイナスの向きを間違えないよう、正しく入れてください。



### 3.電池カバーを元に戻す

# 準備

## 電源を入れる

- 「FUNC」ボタンを押すと、電源ランプが点灯します。



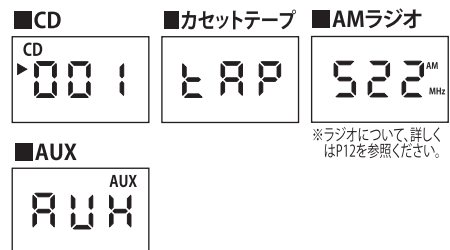
## 電源を切る

- 「FUNC」ボタンを長押しすると、電源ランプが消灯します。



## 入力切替について

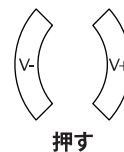
- 「FUNC」ボタンを押すと順次切り替わります。



※ラジオについて、詳しくはP12を参照ください。

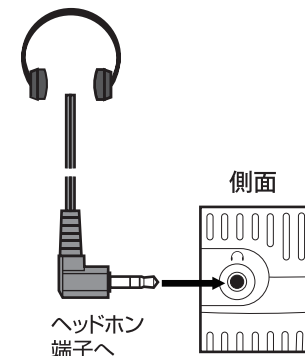
## 音量の調節

- 「V-」を押すと、順次音量が下がります。
- 「V+」を押すと、順次音量が上がります。
- ※音量は「0～30」まで調節可能です。



## ヘッドホンで聴く

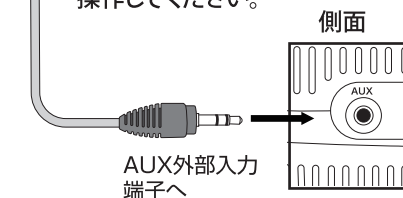
- 1.音量を最小にする(前項参照)
- 2.ヘッドホンプラグを( )ヘッドフォン端子に接続する  
※ヘッドホンプラグを接続すると、スピーカーからの音は出ません。
- 3.音量を調節する  
※ヘッドホンを長時間使用すると耳に悪影響を与えることがありますのでご注意ください。



## USB音楽プレーヤー等から聴く



※CDラジカセで選曲や音量調節等はできません。USB音楽プレーヤーで操作してください。

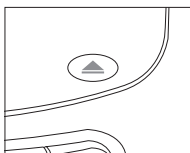




# オーディオCDの再生

## 基本操作

1. CDドアの「▲」部分を押して、CDドアを開ける



2. CDをセットする。

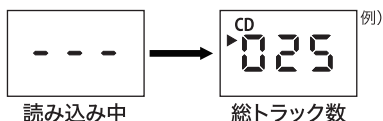
レーベル面を上にしてセットします。

※事前に「レンズ保護カード」を取り外してください。以降不要です。

3. CDドアを閉じる

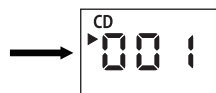
自動的に読み込みを開始し、総トラック(曲)数が表示され、1曲目が再生されます。

※CDがセットされていないときや、ディスクを読み込めないときは「noD」と表示されます。



読み込み中

総トラック数



1曲目

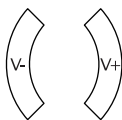


CDがセットされていないときや、ディスクを読み込めないとき

4. 音量を調節する

「V-」を押すと、順次音量が下がります。「V+」を押すと、順次音量が上がります。

※音量は0~30まで調節可能です。



押す

## 停止

- を押す

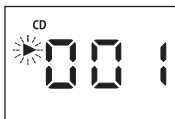
再生を停止します。  
ディスプレイに総トラック(曲)数が表示されます。

- ▶|| を押すと1トラック(曲)目から再生がはじまります。

## 一時停止

1. ▶|| を押す

再生中に押すと一時停止します。



2. 再度 ▶|| を押す

通常の再生に戻ります。

## 早送り/早戻し

再生中に操作します。

- ▶▶ を押したままにする

早送りがはじまります。  
ボタンを離すとそこから再生がはじまります。

- 同様に ◀◀ を押したままにすると早戻しをします。

## 次へ/前へ

- ▶▶ を押す

次のトラック(曲)に移動します。

- 同様に ◀◀ を押す

再生中のトラック(曲)の頭から再生をはじめます。続けてもう一度押すとひとつ前のトラック(曲)に移動し再生がはじまります。

# オーディオCDの再生

## リピート再生、ランダム再生

「MODE」ボタンを押すと、1曲リピート・フォルダーリピート・全曲リピート・ランダム再生の設定ができます。

- 1トラック(曲)リピート再生するには

1. 希望の曲を選び、「MODE」ボタンを押す

REPEAT(リピート)表示が点滅し、1トラック(曲)リピート再生が設定されました。



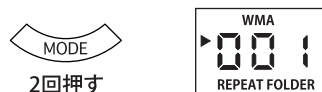
- フォルダーをリピート再生するには

※このモードは、曲をフォルダー別に録音したCD-RとCD-RW再生時のみ表示されます。

1. 希望の曲を選び、「MODE」ボタンを2回押す

REPEAT FOLDER(リピートフォルダー)と、ファイルフォーマット(WMA、MP3等)の表示が点灯し、リピート再生が設定されました。

※WMA、MP3再生可能。  
MP3再生時は、「MP3」と表示されます。



- 全トラック(曲)リピート再生するには

1. 「MODE」ボタンを2回押す

※フォルダーを有するCD-RとCD-DR再生時は3回押す

REPEAT(リピート)表示が点灯し、全トラック(曲)リピート再生が設定されました。



- ランダム再生するには

1. 希望の曲を選び、「MODE」ボタンを3回押す

※フォルダーを有するCD-RとCD-DR再生時は4回押す

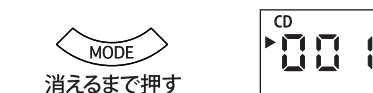
RAN(ランダム)ランプが点灯し、ランダム再生が設定されました。



- リピート再生、ランダム再生を解除するには

1. REPEAT(リピート)、またはRAN(ランダム)が消えるまで、「MODE」ボタンを押す

リピート再生、またはランダム再生が解除されました。



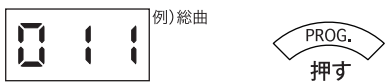
# オーディオCDの再生

## プログラム再生

※プログラム機能を使用して、プログラム再生をすることができます。

- CD : 30曲
- WMA・MP3 : 99曲 記憶可能

1.まず、**■** を押す  
総曲が表示されたら、「PROG.」ボタンを押す



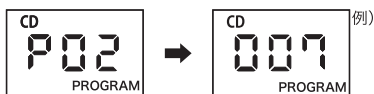
2.PO1と表示され、PROGRAM(プログラム)表示が点滅する



3.「**◀◀**」、「**▶▶**」を押して、記憶したい曲を選択する



4.「PROG.」ボタンを押すと、PO2と表示されるので、次に記憶したい曲を選択する



5.3~4の操作を繰り返し行なってプログラムする

6.プログラムが終わったら、**▶▶** ボタンを押して再生する

※プログラムされた1番目の曲から再生をはじめ、プログラムされた全曲の再生が終わると停止します。

7. **■** ボタンを2回押すとプログラムが解除され、総曲が表示されます

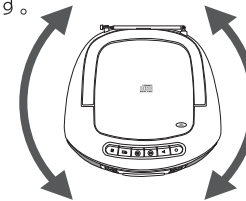


# ラジオを聴く

## アンテナについて

●FMアンテナ  
FMアンテナを伸ばす  
本体背面にあるFMアンテナを最も受信状態の良い方向に伸ばします。

●AMアンテナ  
受信状態の良い場所および方向に置く  
AMアンテナは本体に内蔵されていますので、本体を最も受信状態の良い場所および方向に置きます。



AM/FMラジオを聴くときにうまく受信できなかったり、雑音が入るときは、下記の点をご確認ください。

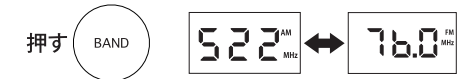
- ※近くで電波を発生する機器が作動していないことをご確認ください。
- ※地域によってはラジオ放送が入りにくい所があります。

## 基本操作

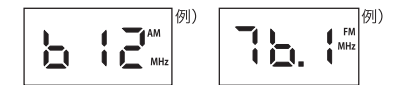
1.「FUNC」ボタンでラジオを選ぶ



●「BAND」ボタンを押すと、AM/FMの切り替えが出来ます。

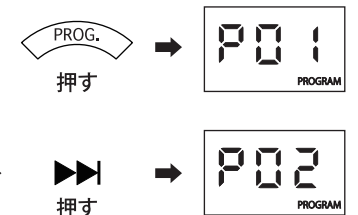


2.「**◀◀**」、「**▶▶**」を長押しして、周波数を合わせる



もしくは、チャンネルで選局する  
→まず、「PROG.」ボタンを押し、「**◀◀**」「**▶▶**」でチャンネルを切り替える

※まず、選んだチャンネルが表示され、数秒後に選んだチャンネルの周波数が表示されます。



※チャンネル設定について、詳しくはP13を参照ください。

## ワイドFMとは

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM(中波)放送局の放送エリアにおいて、難聴対策や災害対策のために従来のFM放送用の周波数(76MHz~90MHz)に加えて新たに割当てられた周波数(90MHz~95MHz)を用いてAM番組を放送することです。

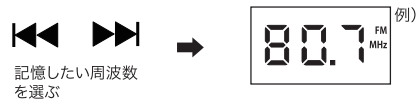


- FMステレオ放送だから音がクリア!
- 雑音が少なく聴きやすい!
- ビルやマンションでも受信しやすい!

# ラジオのチャンネル設定

## 手動設定

1.まず、「」、「」で記憶したい周波数を選ぶ



2.次に、「PROG.」ボタンを長押しする。すると、PO1と表示され、PROGRAM (プログラム)表示が点滅します。



3.最後に、「PROG.」ボタンを押すと、チャンネル1の設定が完了されます。すると、設定した周波数が表示され、PROGRAM (プログラム)表示が点灯します。



## 自動設定

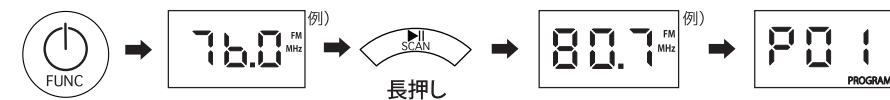
※電波の状態によっては、チャンネル・プログラムの自動設定が出来ない場合があります。

まず、「FUNC」ボタンでラジオにします。

次に、「SCAN」ボタンを長押しします。

すると、自動的にチャンネルを選択して、プログラムをします。

また、電源をOFFにしても、次回ラジオを聴くときは、「PROG.」ボタンを押して、「」、「」を押すだけで簡単にチャンネルを選べます。

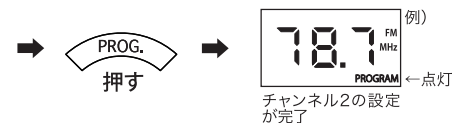
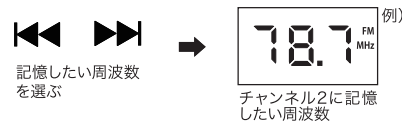


「FUNC」ボタンを押してラジオにする

※20チャンネルまで設定可能です。チャンネルの再設定を行うときは上書きしてください。

4.チャンネル1の設定が終わったら、以降のチャンネルを設定します。

1・2まで操作して、PO1と表示されたときに、「」を押します。すると、PO2と表示されるので、「PROG.」ボタンを押します。これで、チャンネル2の設定が完了し、設定した周波数が表示されます。



5.引き続き4の手順で設定をおこなってください。

# カセットテープを聴く

## 一時停止

1. を押す

一時停止します。

2.再度 を押す

通常の再生に戻ります。

## 早送り/巻戻し

1. を押す

早送りがはじまります。

2.希望のところで を押す

●同様に を押すと巻戻しをします。

## テープの取り出し

1. を押す

再生が停止します。

2.再度 を押す

カセットテープドアが開きます。

※片面再生のみ可能です。

※オートリバース機能はありません。

※ノーマルテープ(TYPE1)のみが使用可能です。

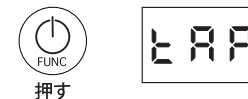
※C-120(往復120分テープ)を越える長時間テープは変形しやすく、また伸びやすいため、テープのからみや、切れの原因になりますので、本機では使用しないでください。

C-90(往復90分テープ)以下のテープでノーマルタイプをご使用ください。

※エンドステープの録音/再生はできません。

## 基本操作

1.「FUNC」ボタンでカセットテープ再生を選ぶ



2. を押してカセットテープドアを開ける

3.テープ露出面を上にし、聴きたい面を手前に向けてテープを入れる

4.カセットテープドアを手で閉める

5. を押す

再生がはじまります。

## 停止


を押す

再生が停止します。



# カセットテープに録音する

## オーディオCDからの録音

1.  を押してカセットテープドアを開け、録音するテープ部分が右側になるようにテープを入れる

2. CDを聴ける状態にする  
(9ページ“基本操作”1.~4.参照)

3.  を押す

4.  を押す

同時に  も押されます。


※カセットテープのツメが折れていますと録音出来ません。(P4を参照ください。)

5.  を押す


CDの再生がはじまります。

6. 録音したいところで  を押す


これで録音が始まり、テープの端まで行くと自動的に停止します。

※3.~4.の操作をせずに直接  を押しても録音は開始されます。

●録音レベルは自動で設定されます。

7.途中で止めたいときは  を押します


## ラジオからの録音

1.  を押してカセットテープドアを開け、録音するテープ部分が右側になるようにテープを入れる

2.ラジオを聴ける状態にする  
(12ページ“基本操作”1.~2.参照)


3.  を押す

4.  を押す


同時に  も押されます。

5.録音したいところで  を押す

これで録音が始まり、テープの端まで行くと自動的に停止します。

※3.~4.の操作をせずに直接  を押しても録音は開始されます。

●録音レベルは自動で設定されます。

6.途中で止めたいときは  を押します

## オートストップ機能について

※本機にはオートストップ(自動停止)機能が搭載されていますが以下の点にご注意ください。

●早送り/巻戻しの時は自動停止しませんので、希望の場所や終端で

 を押してください。

# 故障かなと思ったら

使用方法を間違えたりしますと、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に下表で確認してください。

## ●電源/音

症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない、入ってもすぐ切れる	・電源プラグが抜けている ・電源プラグが抜けかかっている	・電源プラグをコンセントにしっかりと差し込む
電源が入らない、入ってもすぐ切れる(乾電池使用のとき)	・乾電池が消耗している ・乾電池の極性が間違っている	・乾電池を6本とも新しい物に交換する ・乾電池のプラスとマイナスを確認し間違っていたら正しく入れ直す
音が出ない	・音量が最小になっている ・ヘッドフォンが接続されている	・音量調節をする ・ヘッドフォンを抜いてください。
音がひずむ	・音が大きすぎる ・乾電池が消耗している	・音量を小さくする ・乾電池を6本とも新しい同じメーカーの同じ製品に交換する

## ●CD

症 状	考えられる原因	対処方法
CDの演奏がはじまらない	・CDが裏返しに入っている ・規格外のCDを入れている ・CDが入っていない ・CDが汚れている ・一時停止状態になっている	・CDの向きを確かめる ・オーディオCDに交換する ・オーディオCDを入れる ・CDを交換するか、クリーニングする ・一時停止を解除する
CDの音が出ない	・CDの機械部が結露状態になっている	・1時間ほど放置してから使う
CDの音が飛ぶ	・CDが汚れている ・CDに傷がある ・強い振動を与えている ・CDが結露している	・CDを交換するか、クリーニングする ・CDを交換する ・安定した場所に置く ・水分を拭くか乾燥するまで待つ

## 故障かなと思ったら

### ●ラジオ

症状	考えられる原因	対処方法
波のような音が入る	・周波数がずれている	・周波数を正しく合わせる
雑音が入る	・FMアンテナが伸びていない (FMの場合) ・本機の向きが合っていない (AMの場合) ・近くにテレビや蛍光灯等の電気製品はありませんか。	・FMアンテナを伸ばし高さ、方向を調整する ・本機の向きを調節する ・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。

### ●カセットテープ

症状	考えられる原因	対処方法
カセットテープが入らない	・テープの露出面が下になっている	・テープの露出面を上にして入れる
テープが回転しない	・テープが正しく入っていない	・テープを正しく入れる
テープが機械に巻きつく	・ピンチローラーやキャプスタンが汚れている ・テープが弛んでいる	・市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを清掃する ・テープの弛みを直す
早送り・巻戻しが遅い/回転ムラがある	・テープが傷んでいる ・乾電池が消耗している	・テープの回転具合を確認して、回転の重いテープは使用しない ・乾電池を交換する
再生音が小さい/再生音が割れる/高音が出ない/雑音/音が震える/音が飛ぶ	・ヘッド部が汚れている ・テープが摩耗している	・市販のヘッドクリーナーでヘッドを清掃する ・新しいテープと交換する
録音状態にならない	・カセットテープの誤消去防止用ツメが折れている	・ツメの付いているテープと交換するか、セロハンテープなどでツメの穴をふさぐ
前に録音されている音が完全に消えない	・消去ヘッドが汚れている	・市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃する

## 製品仕様

品名	AM/FMステレオCDラジカセ
品番	HKC-002 WH
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	12W
使用電池	DC9V(単2形アルカリ乾電池6本)(別売)
受信周波数	FM: 76~108MHz AM: 530~1602kHz
最大出力	1W×2
入力端子	ヘッドホン端子、AUX(外部入力端子)
許容温度範囲	5~35℃
付属品	電源コード、取扱説明書/保証書
外形寸法	約(W)21.0×(D)21.0×(H)12.0cm
本体重量	約1.5kg
製造国	中国

※外観及び仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

## ■保証書

- 保証書は取扱説明書の裏表紙下に付いています。
- 保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買い上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡しいたします。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から一年です。

## ■補修用性能部品の保有期間

本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保証期間は、製造打ち切り後5年です。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。

## ■修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または当社にご連絡をください。  
なお、本体の故障や不具合により発生した付随的損害の責についてはご容赦ください。

## ■廃棄するときは

本機を破棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。  
保証期間中の修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。また、保証期間が過ぎていても修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

